

子育て費用の4割強を占める「保育・教育」費用。 子供との催し、「クリスマス」「誕生会」「ひな祭り」が3大行事。

株式会社日本能率協会総合研究所（本社：東京都港区、代表取締役：榮 武男）は、2010年7月、第1子が中学生以下の子どもを持つ母親400人を対象に、「子育て費用に関する調査」を企画し、子どもにかかる毎月の費用や親兄弟に負担してもらう費用などの実態調査を実施しました。調査結果から、子育て費用に占める「保育・教育費」の占める割合が圧倒的に高いこと等がわかりました。

子育てにかかる費用(月額)の平均は約5.2万円。
内訳で最も大きいのは「保育・教育」費用、次いで「食費」。

- 毎月の子育て費用は、平均で約52,000円。
- その内訳で最も大きいのは「保育・教育」費用の4割強、次いで食費の約2割。
- 第1子世代別では第1子が「4～6歳(未就学児)」世帯で「保育・教育」費用の割合が約半分を占める結果となっている。

祖父母等肉親からの援助がある世帯は全体の7割弱。
援助を受けている人の援助額(年額)の平均は約4.4万円。

- 兄弟や親(*こどもからみた祖父母)から買ってもらうもの、払ってもらうものがある世帯は全体の7割弱。
- 具体的に買ってもらうもの、払ってもらうものとしては、最も多いのが「衣類・靴」、次いで「おもちゃ」、「本」、「お小遣いの順となっている。

子供の行事、実施率上位は「クリスマス」「誕生会」「ひな祭り」の順。
費用をかけるのは「写真館の撮影」「七五三」「入園・入学式」の順。

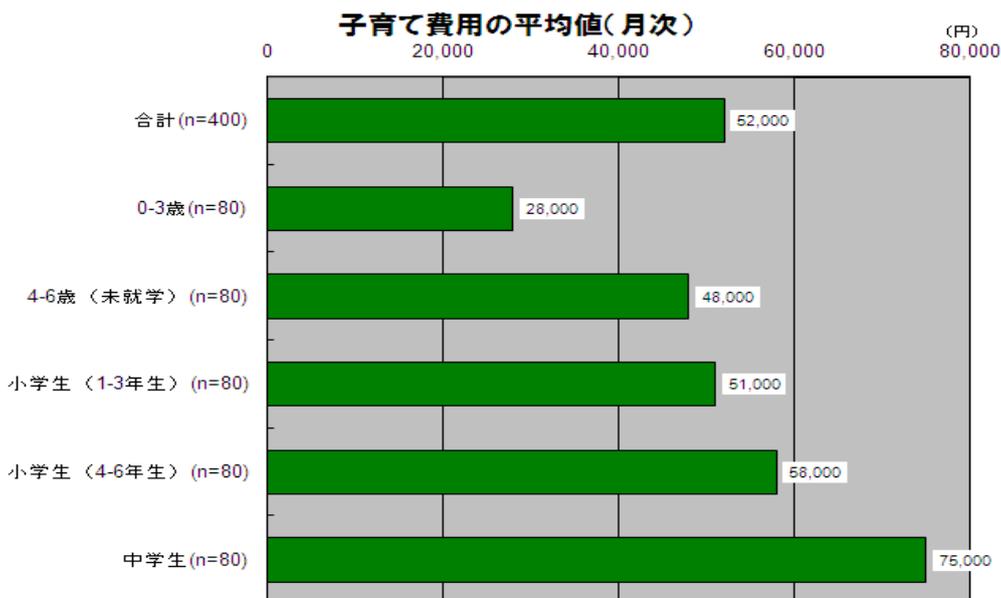
- 年間行事別の実施率をみると、実施率が最も高いのは「クリスマス」で、次いで「誕生会」「ひな祭り」の順となっている。
- 一方、行事を実施した世帯における、行事にかかった費用(平均)についてみると、最も高いのは「写真館での撮影」で次いで「七五三」、「入園式・入学式」の順となっている。

【報道関係お問い合わせ先】

広報事務局；株式会社日本能率協会総合研究所 情報企画部 池田、松川
電話：03-6202-1287 FAX：03-6202-1294 E-mail：info@jmar.biz

● **子育てにかかる費用、月額平均は約 5.2 万円。第 1 子が中学生の世帯では平均で約 7.5 万円。**

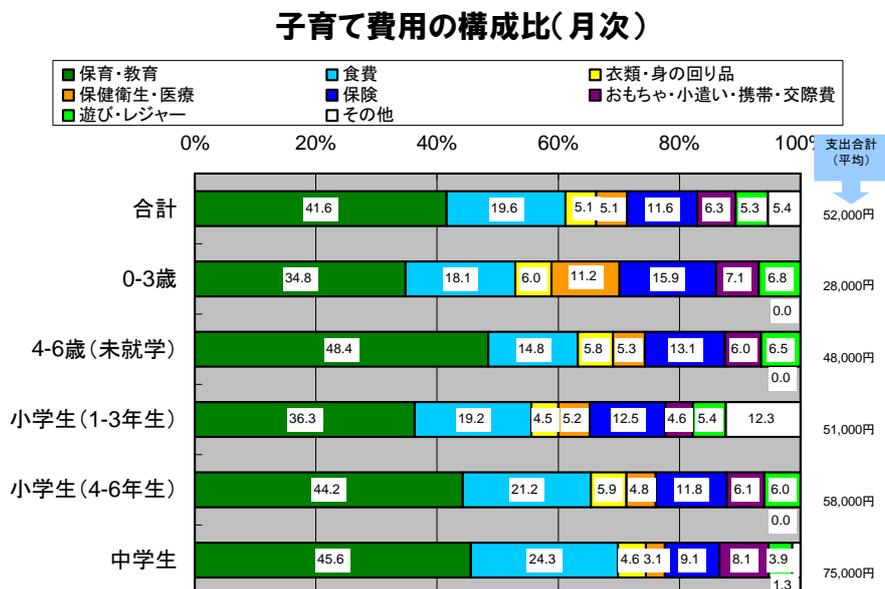
子育てにかかる費用の月額平均は、全体平均で約 52,000 円。第 1 子の世代別に見ると、第 1 子が乳児の世帯では約 28,000 円、一方、第 1 子が中学生の世帯では約 75,000 円と年齢が上がるにつれて費用は増加する傾向となっている。



● **子育てにかかる費用内訳、最も大きいのは「保育・教育」関連費用の 4 割強。特に第 1 子が 4~6 歳 (未就学) の世帯では約半分を占めるに至っている。**

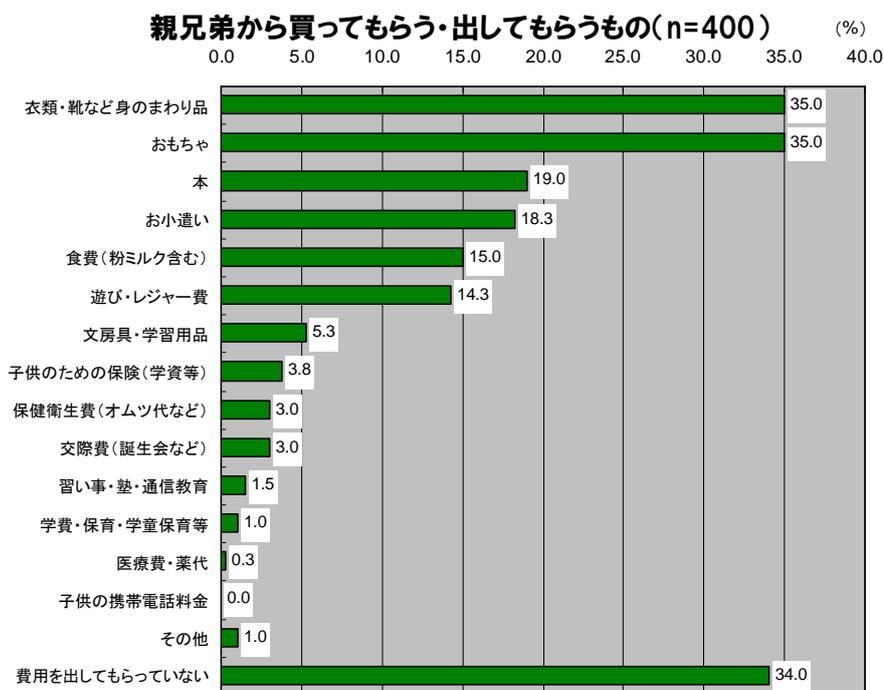
子育てにかかる費用の内訳をみると、最も大きいのは「保育・教育費」で約 42%、次いで「食費」約 20%の順となっている。

第 1 子世代別にみると、「保育・教育費」の割合が最も高いのは、第 1 子が 4~6 歳 (未就学児) 世帯で、子育て費用全体の実に約 48%を占めるに至っている。



● 祖父母等に子育て関連費用を出してもらっている世帯は全体の7割弱。

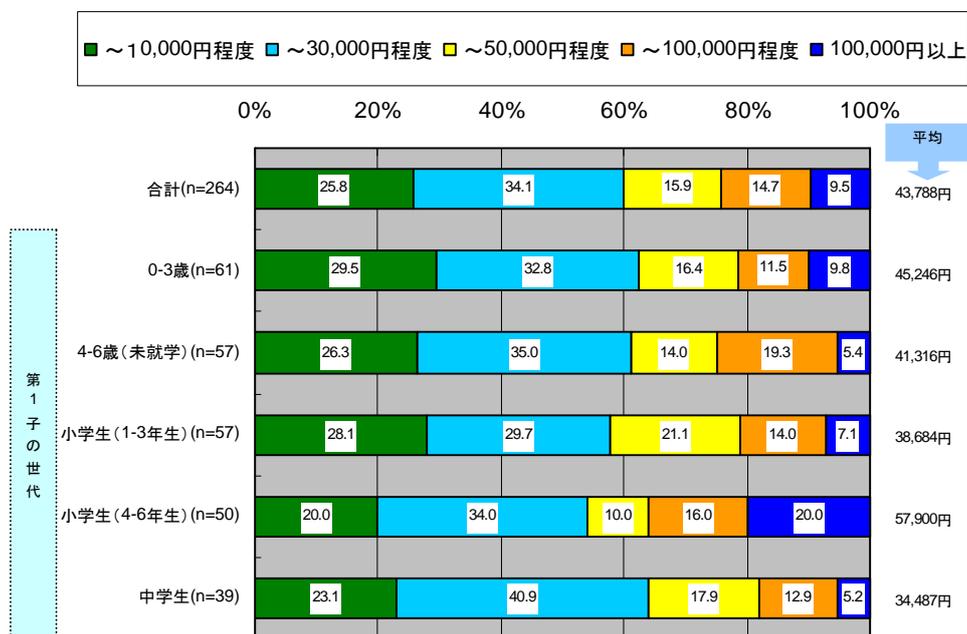
子育て費用を兄弟や父母（*こどもからみた祖父母）に「出してもらっている」世帯は約66%と全体の3分の2の世帯は何らかの援助を受けている。援助を受けた費目として最も大きいのは、「衣類・靴などの身のまわり品」「おもちゃ」で全体の35%、次いで「本」19%、「お小遣い」約18%の順となっている。



● 費用を出してもらっている世帯の援助額（年間）は平均で約4.4万円。

費用を「出してもらっている」世帯のうち、買ってもらっているものは「衣類・靴」「おもちゃ」が共に35.0%と高く、次いで「本」「お小遣い」「食費」「レジャー費」と続く。

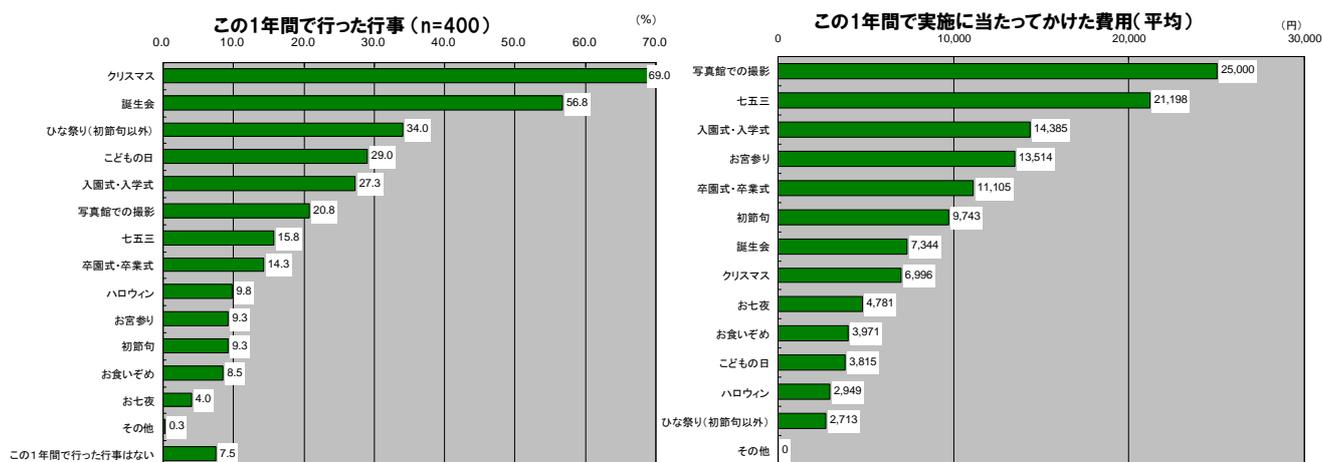
親兄弟から買ってもらう金額(年間)



- 子どものための行事、実施率が高いのは「クリスマス」「誕生会」「ひな祭り」の順。
- 行事実施世帯の行事ごとの支出額、多いのは「写真館の撮影」「七五三」「入園・入学式」の順。

年間行事別の実施率をみると、実施率が最も高いのは「クリスマス」で69%、次いで「誕生会」約57%、「ひな祭り」34%の順となっている。

一方、行事を実施した世帯における、行事にかかった費用（平均）についてみると、最も高いのは「写真館での撮影」で2.5万円、次いで「七五三」約2.2万円、「入園式・入学式」1.4万円の順となっている。



● 子どものための行事、実施率の高低とかける費用の大小で2極化の傾向

横軸に実施率、縦軸に実施時にかかる費用（平均）の構成比を取って単純にマッピングすると、「実施率は高く実施時にかかる費用は少ない」行事と「実施率は高くないがかける費用が多い」行事に2極化される傾向が明らかとなった。

※今回調査対象とした世帯によっては該当しない行事もあるために、あくまでも単純比較結果となります。

